



昭和49年
5月号

発行所 東郷町役場
編集人

飼料基盤整備事業で

坪谷川に赤松橋完成

本町は昭和四十二年度に肉用牛振興計画をたて、四十七年度には新農林業振興計画により千二百頭の肉用牛、子牛生産五百三十頭を基本に五十年年度には千七百頭の肉用牛飼育と子牛生産七百九十頭を目標にしています。このため、農協有牛畜産振興資金などにより、優良基礎牛を導入し、改良増殖対策を積極的にすすめています。

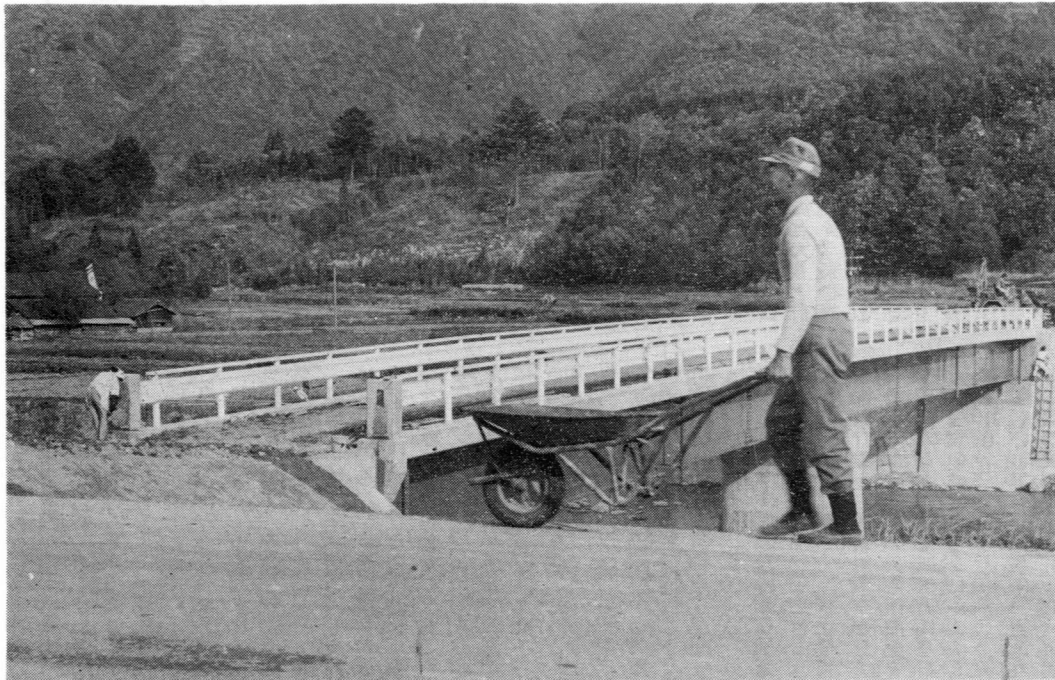
町では四十八年度と四十九年度の継続事業で、仲深区の赤松地区で飼料基盤整備事業をすすめています。この事業は飼料畑や牧草地の造成などに要する事業に対して国と県が六五%の補助金を交付するという有利な事業です。

四十八年度事業では四千二百二十万五千円で長さ六十三メートル、幅四メートルの赤松橋（H型鋼橋）を坪谷川

にかけるとともに、農牧道六百五十六メートルを開設しました。さらに四十九年度には千八百八十六万五千円をかけて農牧道三百二十メートルを開設するとともに、牧草地五・四三を造成することになっています。

現在この地区では十三戸の農家が二・三畝の飼料畑と、一・二畝の野草地を利用して十七頭の肉用牛を飼育しており、飼料の自給率は六六・四%となっています。

計画では、飼料作物と牧草作付面積を二二・二畝にふやし、飼料自給率を八二・五%にまで高め、六十五頭の肉用牛を飼養、四十八頭の子牛を生産しようとするものです。この事業の実施により本町畜産の振興が期待されており、一日でも早い完成が待たれます。



第三日曜日（十九日）は家庭の日

点滴

愛鳥週間

さらっとした五月の風はさわやかに、野や山は緑一色に包まれて、青葉の季節がやってきました。



▽立春から数えて八十八日目、二日は「八十八夜」です。
〃夏も近づく八十八夜……〃

新茶の香りに「あゝ夏が……」いよいよ近づいたという感じがします。町内のいたるところで茶摘みが始まりました。茶摘みは立ちどおしですので、なかなか骨のおれる仕事です。摘んだ茶の葉は大きなカマで長い時間いりあげますが、最近はこのような情景も少なくなりました。

▽十日は「バードデー」で、この日から一週間を「愛鳥週間」としています。野鳥の数は減っているといわれていますが、豊かな緑を保護するだけでなく、これら野鳥も保護していくようみんなで努めましょう。

ふるさととは山のお
くなる山なりきう
ら若き母の乳にす
がりき 牧水

〇……………として保存しましょう……………〇

東郷中学校を改築

総額11億円の開発型予算

昭和四十九年度に入りました。町制をしいてちょうど五周年を迎えてさらに飛躍発展をめざす年です。まずまず軌道にのる生活環境の整備事業、そして高く広くふくれる福祉施策——その実現のため

三月定例町議会で、昭和四十九年度の一年間、町の各事業の台所をまかなう予算がきまり、四月一日からスタートをきりました。

「国の新年度予算は、物価の早急な安定を期するため総需要抑制に最大限の努力をはらっています。が、町としてはこの基本方針にそいながらも後進性の強い町の現状から開発型の予算となっていて、

限られた財政力下、国の施策に期待しながら、農林業と併行して商工業の振興につとめるとともに福祉予算を増額して豊かな精神面の生活を願っています。そして、町民が健康で豊かな生活ができるように総力をあげる覚悟です。」

新年度予算の提案・所信表明で、小野町長はこのように述べました。

昭和四十九年度の一般会計予算の総額は九億六千五百万円、前年度より二億三千七百九十万円およそ三五・六%伸びています。このうちでも建設関係予算が大きなウエイトを占めています。

以下、四十九年度予算のあらまについて説明します。

一般会計は九億六千五百万円と昨年度に比べて三五・六%も伸びました。町民一人当たり十三万円に超大型。特別会計を合わせると、本町としては初めての十億円台予算となりました。

歳入

では、まず歳入からみてみましょう。歳入のうちわしたち町民の納める町税は五千七十三万円。全体の五・六%に過ぎません。しかし、この額は前年より八百三十九万円の増、町民の所得がふえることによる自然増を見込んでいます。

老人と乳幼児 医療費の公費負担

老人福祉では、医療費の公費負担に千五百六十九万円と大きく計上。このほか健康診査費、家庭奉仕員費、老人クラブ助成金、八十歳以上の高齢者に対する敬老記念品代などを計上しました。

さらに老人ホーム鈴峰園に要する経費として二千七百六十万円、老人福祉館運営費を計上、さらに老人福祉施設を並べました。児童福祉では、いよいよことしから児童手当が完全実施となり、年令が義務教育終了前の児童・生

町税のうち町民税は七百九十二万円、固定資産税が二千八百一十万円、軽自動車税が二百二十一万円、町内のたばこ店からたばこを買うことによって入る消費税も九百四十万円が計上されています。

三分の一が最大の財源が地方交付税 方交付税の二億九千五百万円、全体の三二・五%に当たります。

町債は一億二千六百万円。これは、町が借金をして建設事業に充当するものです。そのほかに、事業を実施するのに伴わない交付される国庫支出金、県支出金が主な財源ですが、なおかつ不足する財源にあてるために財産収入を九千三百万円計上しています。

歳出 50%が建設事業費

こんどは歳出を性質別にみてみましょう。

本年度は東郷中学校の校舎建設をはじめとして、各計画により生活環境の整備充実と町民福祉の向上に重点をおき予算を編成しました。このため、普通建設事業費には前年度を大幅に上まわって四億五千八百万円を投じ、全体の五〇・五%を占める結果になりました。人件費は二億一千二百万円、全体の二三・六%、物件費は六千三百万円、各種負担金も五千六百万円計上しています。

害を受けた世帯の世帯主に対して災害援護資金を二十万円から五十万円（災害の種類で異なる）を貸付けることで百万円を計上しました。

環境保全、保健 法定予防接種衛生に力つくす 種の徹底と成人者の健康管理の充実をはかるため予防費として五百七十七万円を計上。母子健康の増進、妊産婦や乳幼児の検診も継続します。低所得の母子を対象に、栄養強化をはかるためミルクの支給をしています。これが六十四万円を計上しています。

日向市と共同ですすめているし尿処理場が完成したのに伴ない、

青年の国内研修

教育面では、町立の幼稚園、小学校、中学校の管理費、教材費などを計上したほか、東郷中学校の危険校舎を改築することにして一億二千三百八十八万円を計上しています。そのほかに、学校、社会、家庭が有機的な結びつきを保ちながら、豊かな人づくり、町づくりをめざして青少年の健全育成と成人教育を重点にとりあげています。新しい試みとして、友好町の幕別町との交流を深める意味で、青年の国内研修旅費を計上しています。

特別会計 病院事業会計

△国民健康保険事業▽ 前年度の当初予算に比べ二八%の増になりました。歳出予算増加の主なもの、ことし二月一日から医療費が引上げられたこととことから発足した高額療養費制度によるものです。そして、助産費を一万円から二万円に引上げました。

△簡易水道事業▽ 既設の簡易水道施設維持管理費

△病院事業会計▽ 前年度からの継続事業で実施している病院改築工事の費用が主なもので、ほかに医療用機械器具、人件費などを計上しています。

日向東郷衛生施設組合負担金として五百六十四万円を計上。新規事業として当面家庭から出るごみを処理するために購入した焼却炉の補助として六十万円を計上しました。

農道の舗装など

生産条件の整備はかる

さて、農林業の振興面ではどうでしょう。

まず農業では、高能率養蚕経営団地形成事業、農業近代化資金や経営資金の利子補給、農協有牛予託事業利子補給などの補助金、負担金を計上しています。

また農業生産条件を整備拡充するため赤松地区の飼料基盤整備事業（飼料畑造成と農道工事）に九百四十二万円、農道八本（うち一は橋）の改良、舗装などの工事に七千六百四十五万円、その他農道工事に対する補助金や負担

金二千六百四万円を計上しています。

開墾事業では未こん地の開くと開こん地の換地に要する経費を計上。日田尾地区で十畝、寺迫日平地区で六・五畝の農地の開と換地、日田尾と広瀬間の幹線道路千二百畝の工事のために二百三十八万円を計上しています。

農業構造改善 ことしから昭和五十二年までの四カ年継続事業で、農業構造改善事業を実施、六千五百三十三万円を計上して稚蚕飼育所の増設と機械の自動化、まゆ集荷所一棟と吐蚕共同飼育所六棟の建設、暖房機六台分の施設費にあてることにしています。

林業では、町有林の管理、しいたけ生産の近代化などに三千七百

生活環境の整備

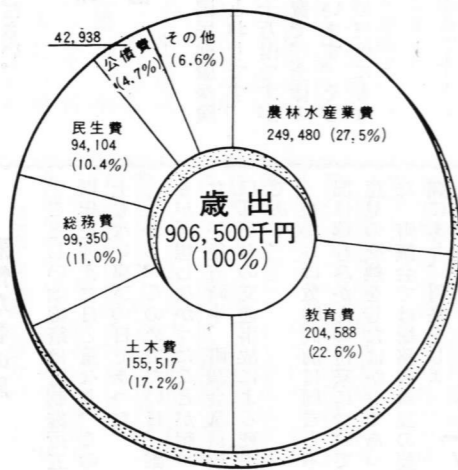
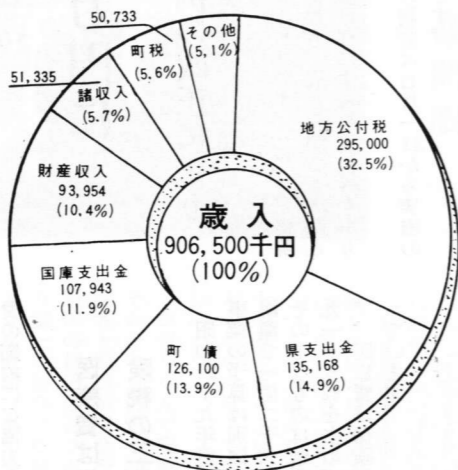
町道の整備では、公共事業の東郷橋一稲葉野線ほか三路線の改良と路面洗掘のはなはだしい路線の生コン舗装、町道改修工事などに要する費用に九千九百六十五万円を計上。公営住宅を十戸建設する工事に三千二百三十二万円を計上しています。

また、防災業務無線設置委託費として四百六十万円を計上し、災害時はかりでなく常時県と直結した無線を設置することにしました。防火水槽、消防器庫、可搬ポンプ購入等施設費に七百二十六万円を計上しました。

昭和49年度会計別当初予算

一般会計	9億0,650.0万円
特別会計	1億,3320.0万円
国民健康保険事業	1億2,610.0万円
簡易水道事業	710.0万円
病院事業会計	1億4,123.1万円
合計	11億8,093.1万円

一般会計予算額





喜楽会が奉仕作業

役場や老人福祉館を清掃

小野田区の老人クラブ喜楽会（会長橋口千利、会員百十人）のおとしよりたちが、四月二十五日に町役場や老人福祉館などの清掃をしました。

喜楽会は町の中心部である小野田区の六十五歳以上のおとしよりたちで組織している老人クラブです。役場や老人福祉館のある地元の老人クラブとして、毎年二回の奉仕作業で、これらの施設の清掃をつづけているもので、こととして五年目を迎えました。

この日は六十人のおとしよりの参加し、自分たちの施設は自分たちの手で美しくしようと早朝から庭の草むしりなどをしていました。ありがとうございました。



鈴峰園のみなさんの篤志で

安全の祈り像開眼



国道三二七号線の東郷橋三差路付近に高さ一・五メートルの「安全の祈り像」が建立され、四月二十五日に開眼（かいげん）しました。

町立養護老人ホーム鈴峰園に入園している児玉清六さん（94歳）は、昭和四十二年六月に入園以来、こつこつと蓄えた老人福祉年金が十一万円余りになったので、何か人のために役立てたいと園長に申し出ました。

厚意をくんで東郷小と東郷中にそれぞれ三万円を贈り、残りに入園者と職員が資金を応援して、小野田の村田金吾さんに「安全の祈り像」の製作を依頼しました。児玉さんの願いをこめた石像はきょうも安全を祈って立っています。

七月から高額療養費制度

助産費も二万円に

国保条例の改正により

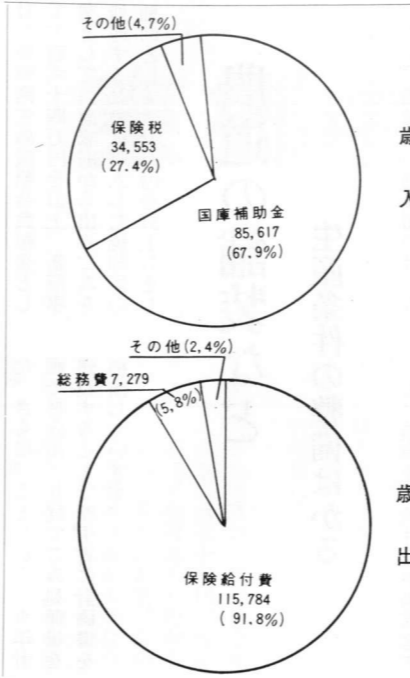
三月の定例町議会で、東郷町国民健康保険条例の一部が改正されて、助産費をこれまでの一万円を二万円に引上げ、新しく高額療養費の制度がもうけられました。

この高額療養費の制度は、被保険者が一カ月に同じ病院や診療所などで、三万円以上の医療費（一部負担金を支払った場合に、この三万円をこえた額をあとから払う）をもちました。

つまり、被保険者はどんな重い病気にかかっても、医療費は一カ月に三万円まで負担すればよいこととなるわけです。ただし、病院をかえたり、同じ病院でも入院と入院外は別にするなど例外もあります。

この制度は七月一日から実施の予定です。

ここで注意いただきたいことは、国民健康保険の財政は決して楽ではないということです。そのようなときに、あえてこの制度を実施することに踏み切ったのは、「病気になることも金のいらぬ社会」という国保制度の理想に一步でも近づきたいという念願にほかなりません。そういう意味で医療費の節約にご協力ください。



保険税額と給付額 (昭和49年度予算)

区 分	金 額	対前年度比
1世帯	保 險 税 額 27,881円	125.7%
当 り	給 付 額 86,059	128.3
1 人	保 險 税 額 7,473	127.5
当 り	給 付 額 23,067	130.2

なりません。そういう意味で医療費の節約にご協力ください。

医療費は保険の三倍

昭和四十九年度の国民健康保険事業の予算は別図のとおりです。総額で一億二千六百万円ですが、その主なものは医療費で、全体の九一・八%を占めています。そして、医療費は保険税の三倍にもなっています。

悲情な春の風

ことしの頌徳祭は町制施行五周年を迎えた日と重なり、この上もない喜びの日であった。しかし、このめでたい日、誰もが予想しなかったことが起きた。午後五時半、町議会議員橋口邦男君の交通事故による死去である。

わたしは数時間前に同君と不況に悩むみかんの将来について意見の交換をしたばかりであった。町議会では総務委員長の要職にあり、将来をしょく望されていただけに、四十七歳の若さで一生を終るといふことが惜しみて余りあることであつた。

若さの故もあって直情径行の人物、思ったことはすばりと言つてのけ、行動力も抜群な熱血漢であつた。

四月三日の葬儀の日は、ニューギニアで戦死された父君の慰霊祭の行なわれた日で、父なきあと十六歳の同君は以来一家の中心として母君をまもり、弟妹をたすけ、苦難の幾春秋であつたろう。

四月四日には、元村長で県議会の議長を歴任された甲斐善平さんが、長い闘病中であつたが七十六歳を一期として黄泉（こうせん）の旅にたたれた。

随想

終戦の混乱時代に民生の安定を期することは容易ではなかつたろう。引きつづき議員の任期中には東郷橋、八重原橋を同時にかけるといふ大きな事業をされた。人間的には無欲淡泊で、ひょうひょうたる人柄はだれもが好感をもつて迎えた。

東郷橋の架橋は、昭和二十三年の施工であつたから、工事担当者の熊谷組の苦勞も一通りではなかつた。特に食糧の確保にはずいぶん困られたと思う。甲斐さんは少ない自家用のモミを贈つて励ましをされた。

感謝した熊谷組が、甲斐さんが上京のとき会社車を差しむけるといった話もある。

文化人との交遊もあり、自からも歌をよく書いた。児等はみなるて静けし妻と二人年越の宵を銭かぞえみる無欲の甲斐さんも年越しには金の苦勞もあつた。

この日頃眠れぬままの夜の続く病み疲れしや初春といふに長い病中には元氣なときの思い出がかけめぐつていたのであろう。

ことしの春は雨が少なく、その上いつまでも寒く異常な天候であつた。この異常な春の風にかげがえのない二つの魂を奪われた。

(小野 弘)

郷士のあゆみ (17)

塩月 儀市

十一、明治時代 (二)

明治新政府が樹立され、新しい政治機構がうたてられたが藩主がそのまま知藩事に任ぜられて地区の政治を担当したので、住民は旧藩時代の延長の感が深く、政治も旧藩時代そのままでした。知藩事は財政の欠乏を補うために引き続き盛んに藩札を発行したので、物価は上り、明治五年の後半には藩札インフレを起し、人民は困窮しました。

藩札は宝暦三年（一七五三）に発行しその後永く使用され、明治初期は二十匁札（七錢八厘）十匁札、五匁札、一匁札（四厘）、五分札、三分札、一分札の七種類でした。

政府も明治元年に大政官札を発行し、ついで翌二年に民部省札が発行され、明治四年に新貨幣条例が公布されて藩札は次々に新貨幣に交換されて明治八年にようやく藩札は姿を消しました。しかし明治十年西南の役の際には西郷札十四万余円が発行され強制的に使用されました。

明治六年七月政府は地租改正条例を公布し、課税標準を地価とし税率を地価の百分の三とし

全て金納としました。この改正は大体明治十五年には完成しましたが、この地租改正で土地所有権が法的に確認されました。この地租改正で最も困難だったのは山林原野の処理でした。旧藩時代の林業政策は各藩それぞれ異つた制度を設けていました。延岡藩は大別して留山と手形山の二種でした。留山は住民の立入を禁止し藩が自ら保護した山林ですが、一村または一人の願出によって下草税を徴して諸木の植付を許し成木すると薪炭、木材など山稼を許し、搬出に際しその物品に応じて「口銀」を課しました。手形山は藩庁より手形を下付して山稼を許し、これも搬出の際その物品に「口銀」を課しました。

これ等の山は藩籍奉還で官有となるべきものでしたが、その所有権に問題があり、又多くの疑問もあり調査も至つて粗雑でしかも生活や利害に直結した問題だけに色々と各地に紛争が起りました。ことにこの地租改正で郷村の共有地の破壊されるものも多く山林の濫伐ははげしくなり森林は荒廃の一途をたどりました。又一方地租改正の完成期は明治十四年、十五年は米価は下落し金融は窮乏し、不作が続いて農民はたいへん困窮しました。

お知らせ



して出費がかさむことになりま
すので、あらかじめお知らせして
おきます。

福祉年金の 所得状況届

福祉年金は毎年一月、五月、九
月に分けてそれぞれ六日から支払
われていますが、ことしの五月支
払い分は六日が休日になりますの
で、翌日の七日から支払われます
のでご注意ください。

固定資産税の納期 第一期分は六月に

三月に国会において、固定資産
税に関する法律の改正が行なわれ
ましたが、この法律の公布が遅れ
ましたので、四十九年度に限り、
固定資産税の第一期の納期限を四
月であったものを六月に変更いた
しました。

また、五月支払分を受領した
ら毎年所得状況届を出していただ
くことになっていきます。係では、次
の日程で所得状況届の受付をし
ますので国民年金証書を添えて届出
てください。恩給、公務扶助料、
遺族年金等を受給中の人は、その
証書をご持参ください。

5月です!!

さわやかに一家総出で
体力づくりをしましょう



なお、当日届出ができない人は
五月三十一日までに役場福祉係で
手続きをしてください。

期日 5月7日

場所と時間 寺迫公民館 午前
10時~12時(寺迫) 老人福祉館
午前9時~12時(福瀬、小野田、
鶴野内) 同 午後1時~4時
(迫野内、八重原、田野、羽坂、
仲深) 坪谷保育所 午前10時~
午後2時(仲深、坪谷、越表、下
渡川)

老齢特別給付 金の証書交付

明治三十七年一月二日から明治
三十九年四月一日までに生まれ
おとしよりに対して、ことしの一
月から月額四千円の老齢特別給付
金が支払われます。この給付金証
書を五月七日の福祉年金所得状況
届の受付の日に交付します。受給
資格があることで請求した人はも
よりの場所でご取ってください。
なお、この日からことしの一月
から四月までの分の給付金が支払
われます。印かんを持参のこと。

人事の発令

四月一日付で次のとおり職員
の異動を発令しました。
▽農林課主幹(総務課付) 山口
俊一▽同(同) 清水清▽住民課福
祉係(同) 畝原孝徳▽同(農林課
振興係) 三浦正教▽建設課管理係

今月の納税
国民健康保険税 一期
納期 五月三十一日

善意のともしび

◆坪谷区の矢野守さんから故
エさんの忌明けに◆寺迫区の橋口
ヤス子さんから故邦男さんの忌明
けに◆仲深区の甲斐アグリさんか
ら故善平さんの忌明けに香典返し
として町社会福祉協議会にそれぞ
れご寄付いただきました。
ここに慎んで故人のご冥福をお
祈りしますとともに厚くお礼を申
しあげます。
東郷町社会福祉協議会

人	口
49年4月1日現在	()は対前月比
男	3,393人 (-24)
女	3,642人 (-35)
総数	7,035人 (-59)
世帯数	1,780世帯 (-6)

戸籍だより
三月届出分
出生 おめでとう
おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	部落
矢野 亜希子	茂	坪谷
谷口 喜平	将成	福瀬
直野 久光	光男	"
竹中 直美	忠行	寺迫
佐藤 茂久	久男	迫野内

氏名	結婚 おめでとう	氏名	部落
小川 竹川	良子	田野	日向市
若田 杉中	小夜子	仲野	深野
中寺 野原	多美子	鶴野	"
塩黒 月木	春江	迫野	内
川直 越野	岩生	福瀬	"
阿蘇 北	チサ	福瀬	"
池野 北	真澄	小野	深野
吉野 逸	登代	鶴野	市内
越野 名	登代	日向	市
川谷 野	順保	日向	市

冥福を祈ります

氏名 年令 部落

直野 宏子	三九	福瀬
山口 ユキ	八六	田野